

2020年7月7日

【お知らせ_電気泳動第64巻1号のJ-STAGEからの公開】

日本電気泳動学会会員の皆様：

本日、学会機関誌「電気泳動」の第64巻1号がJ-STAGE（電子版）に掲載されましたので、お知らせ致します。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/electroph/-char/ja/>

電気泳動 (Electrophoresis Letters) 2020; 64(1):1-48

第58回日本電気泳動学会学会賞（児玉賞）受賞者論文

「電気泳動を用いたタンパク質の翻訳後修飾解析」

木村弥生

「造血器腫瘍の最新臨床医学のための電気泳動」

安井 寛

第13回日本電気泳動学会国際交流奨励賞（橋本賞）受賞者論文

「ネコ尿検体を用いたMALDI-TOF MSによる細菌同定」

前田浩人、石毛崇之、渡辺俊文、曾川一幸

第70回日本電気泳動学会総会シンポジウム：

新規開発の電気泳動技術1『革新的な電気泳動が拓く未来』

1) ライフサイエンス分野における誘電泳動の最新成果

中野道彦、稲葉優文、末廣純也

2) 微粒子電気泳動の原理と応用

赤木貴則

第70回日本電気泳動学会総会シンポジウム：

新規開発の電気泳動技術2『キャピラリー電気泳動によるバイオ分析の諸相』

1) 超高感度キャピラリー電気泳動を用いた微量オミックス分析

川井隆之

2) レクチンとエキソグリコシダーゼを用いる部分導入キャピラリー電気泳動による糖タンパク質糖鎖分析

鈴木茂生

3) pH 勾配の in situ 検出がもたらしたキャピラリー等電点電気泳動法の進化

志村清仁

第70回日本電気泳動学会総会シンポジウム：どげんかせんといかん、Phos-tag!

1) Phos-tag を用いたバクテリア 2 成分伝達系リン酸化タンパク質の定量解析法

木下恵美子、木下英司、小池 透

2) Phos-tag SDS-PAGE を利用した cyclin-dependent kinase-like 5 変異が疾患惹起性であるかを簡便に評価する手法

片山将一

3) Phos-tag 解析から見えてきた新しい EGFR 活性化機構

田中智大、周 越、櫻井宏明

なお、日本電気泳動学会では学会機関誌（和文誌「電気泳動」、英文誌「Journal of Electrophoresis」）への論文投稿を広く募集しております。

会員の皆様の積極的なご投稿を期待しております（正会員及び準会員であれば、投稿料は無料です）。

日本電気泳動学会

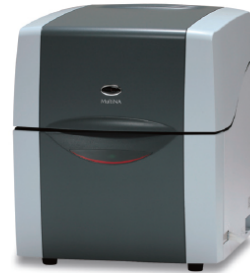
編集委員長

亀山 昭彦

MultiNA DNA/RNA分析用 マイクロチップ電気泳動装置

ゲル電気泳動の手間と目視判定を解消!

- わずか3ステップで最大108検体まで全自動分析
- 繰り返し使用可能なマイクロチップで実現した低い分析コスト
- 検体サイズに適した試薬キットによる高い分離能と再現性
- 蛍光検出を用いた 高感度検出-----エチジウムブロマイド不使用
- 電子化されたデータのため 管理が容易-----異なる分析日・多施設間比較が簡単



 MultiNA サイト <http://www.an.shimadzu.co.jp/bio/mce/multina/index.htm>

株式会社 島津製作所 分析計測事業部 <http://www.an.shimadzu.co.jp/>

日本電気泳動学会企業会員

アドバンテック東洋 (株)
(株) 島津製作所

日本エイドー (株)

富士フイルム和光純薬 (株)

癸巳化成 (株)

ナカライテスク (株)

バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)

(株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン

コスモ・バイオ (株)

(株) ナード研究所

(株) ヘレナ研究所

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp) 宛に
お願いいたします。